

機動隊員等を励ます会

北陸支部が総会

今井支部長「能登半島災害警備に感謝」

機動隊員等を励ます会北陸支部総会が1月28日、新潟市の新潟グランドホテルで開催された。新型ウィルス禍、能登半島地震を経て5年ぶりの開催となった。



挨拶する今井北陸支部長



本部の中村理事長

昨年就任した今井幹太北陸支部長（藤田金屬社長）は「当支部は1977年（昭和52）

れ新潟、富山、石川から約190人が参集した。新型ウィルス禍、能登半島地震を経て5年ぶりの開催となった。

発足。5年ぶりに激励する機会をもてうれしき。機動隊員の皆さまは県内外の自然災害に見舞われた被災地の安心・安全、国際イベントの警備、多様化する犯罪抑止などに敬意を表す。特に能登半島地震での復旧、支援活動には大きな感謝を申し上げたい。今年は大阪関西万博を控える。国民からの感謝をさらなる励みに被災者の支援や大規模警備で活躍を期待したい」と語った。

励ます会本部の中村真一理事長（日鉄物産社長）は「本部は昨年創立50周年を迎え、ご支援、ご協力に感謝。機動隊の治安維持の最後の砦の役割は今も変わらない。災害の頻度と規模は大きくなり、自然災害の救援、捜索活動に対し、当会は引き続き支援を行ってきたい。昨年は能登半島地震、豪雨災害など大変なご苦労があったと推察。誇りと自信を持って職務にまい進してほしい」と語った。

鈴木康之新潟県副知事、滝澤依子警察本部長の挨拶の後、乾杯で北陸支部世話人の深海由紀夫三星金属工業常務が「日々厳しい訓練を行う隊員の皆さまに感謝する」と杯を掲げた。

全員で「この世を花にするために」と合唱。荒木誠機動隊長が謝辞を述べ、北陸支部顧問の北爪彰人日本製鉄支店長が「昨年は災害が多く、被災者救助や治安維持の謝意をお伝えできた。引き続き精いっぱい支援したい」と万歳三唱で締めくくった。

前段の講演会では石川県警察本部警備部機動隊の松村圭中隊長が「災害警備を振り返って」と題し、能登半島地震発災直後の救出、捜索活動を報告し、「被災者の心情に配慮した活動が教訓になった。日ごろの備えが全て」と振り返った。